

決断

17日(金)に私立高校推薦入試がありました。そして、24日(金)～29日(火)にかけて私立高校一般入試があります。

皆さんにとっては1年後のこと。その1年後はあっという間に来てしまいそうな気がします。これからの1年間で、どの上級学校(高校等)を受験するかを選ばなければいけません。

五木寛之さん著書「選ぶ力」の本に、「生きることは選ぶこと」ということが書かれています。

朝起きてから夜寝るまでの間、「朝食は何を食べようか」「何時に家を出ようか」「昼休みは何をして過ごそうか」「宿題は何時からやろうか」など、選ぶことの連続です。私たちは選ぶことを積み重ねながら生きているといいと思います。

「選ぶ」を「決断する」と言い換えてもいいでしょう。

「決断」とは「決めて断つ」と書きます。

家庭学習時間を確保するためには、遊ぶ時間などを断って時間を確保することが必要になります。複数ある選択肢の中から1つを決断するとは、1つに決めて残りの選択肢は断つということになります。

決断するもののなかには、中学校卒業後の進路、高等学校卒業後の進路、就職、結婚など大きなものもあります。そして間近に迫っているのが、中学校卒業後の進路です。

あなたは、これからこういった決断をしていくのでしょうか。



選抜

公立高校入試は、正式には公立高等学校入学者選抜学力検査といい、「選抜」という言葉が入っています。

「選抜」とは文字通り「選び抜く」という意味になります。

学力検査(筆記・面接試験等)をすることで、高校の授業を理解できるだけの学力をもっているか、校風にあっているか、目的意識を明確にもっているかなどを総合的に判断し、多くの受験生の中から、その高校にふさわしい人物を選び抜くわけです。

今までは選ぶ立場だったものが、選ばれる立場に変わることになります。

今、選ばれるにふさわしい学力や生活態度が備わっていますか。選ばれるための努力をしていますか。今のうちから準備を始めてください。

入試後も、選抜される機会は多くなってきます。

社会で求められる力としては、ベネッセの調べるによると、「問題解決能力(問題を意識し、必要な情報を収集・分析・整理し、問題を解決する)」「継続的な学習力(進んで新しい知識・能力を身に付けようとする)」「主体性(自らの考えで責任をもって自律的にものごとに取組む)」「チームワーク力(チームの中で協力しながら自分の役割や責任を果たす)」「自己管理能力(目標の実現に向けて計画をし、自らを律して行動できる)」の能力が上位に挙げられるそうです。

